SURF: Speeded-Up Robust Features の紹介

SURF とは何か

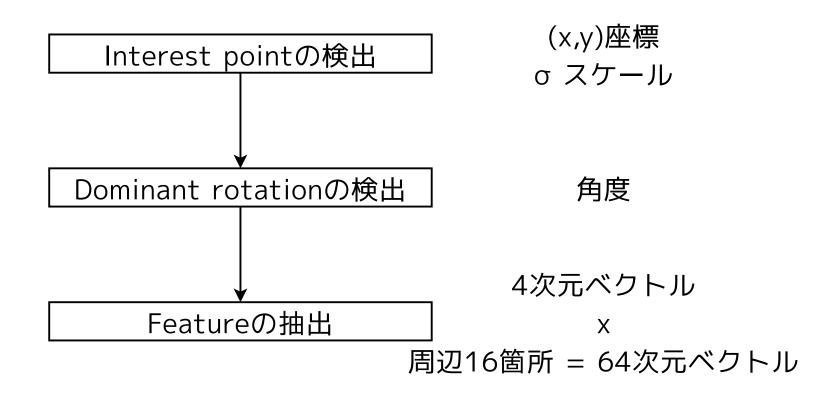
- SIFT のような Interest point + Feature description
- 演算が単純
- Integral image による高速化
- ノイズに強い(?)

SURF & SIFT

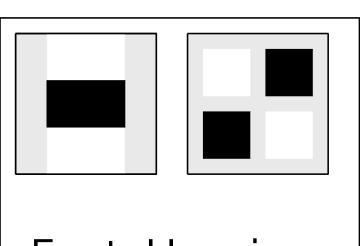
比較

	SIFT	SURF
Featureの次元	128 (4x4)x8	64 (4x4)x4
Featureの表現	勾配のHistgram	Haar waveletの 1次応答の総和
Key point検出	LoG	Hessian行列の 行列値
↑の近似手法	DoG	矩形フィルタ

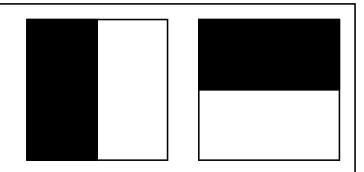
処理フロー



アルゴリズムの構成







Haar wavelet

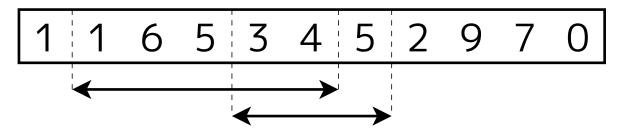
Integral Imageによる矩形積分

他にinterest pointの補完等...

1次元で考える

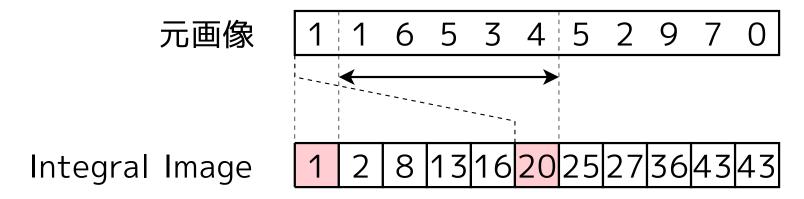


元画像

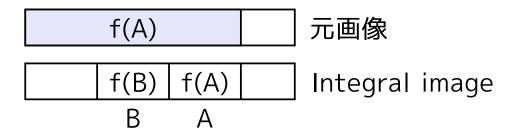


→ O(n)の計算量

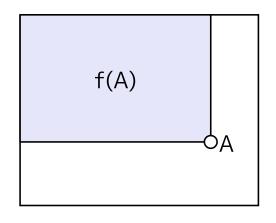
1次元で考える



1 次元配列

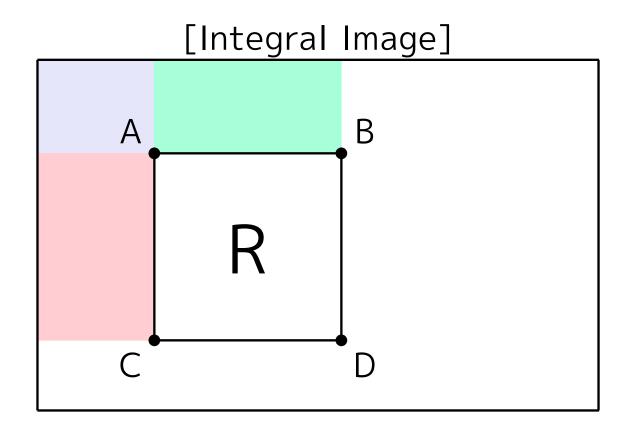


2次元に拡張する



原点 - 点Aでできる矩形の中の積分を 座標Aに保持するような配列 = Integral Image

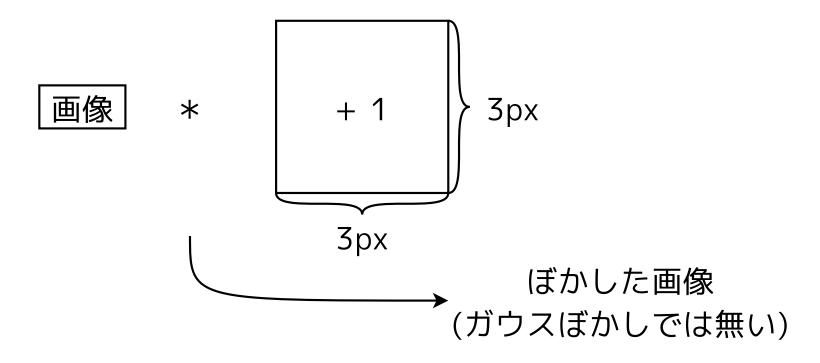
2次元に拡張する



$$R = D - B - C + A$$

矩形積分の意味

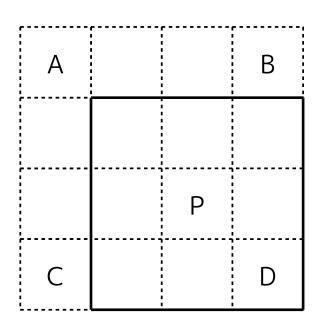
平滑化フィルタ



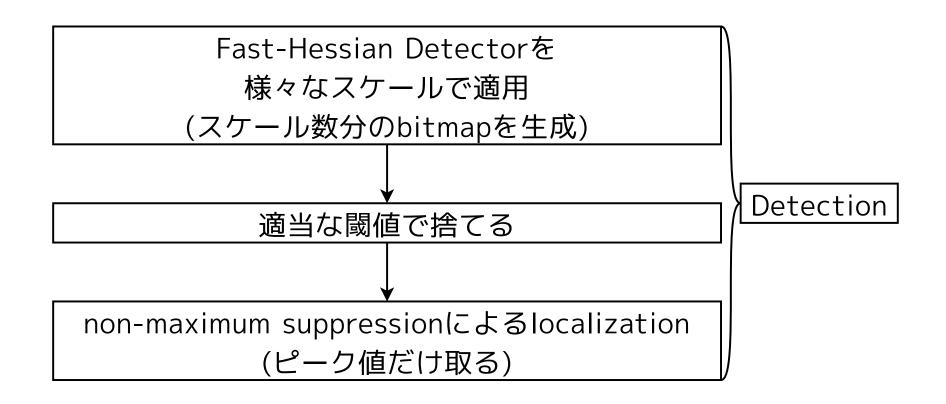
1pxにつき1回の積分

矩形積分の意味

平滑化フィルタ

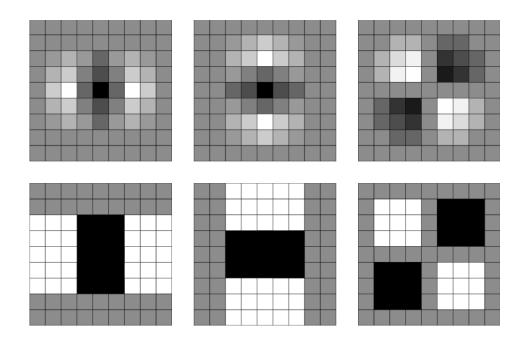


座標 P について、3x3平滑化フィルタの 結果を知りたければ、 P = (A - B - C + D)

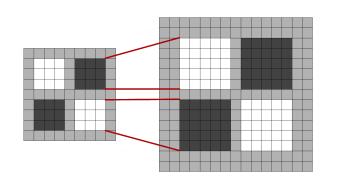


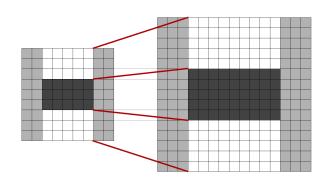
本来の Hessian 応答 (?) $det(\mathcal{H})$ を以下のように近似

$$det(\mathcal{H}_{approx}) = D_{xx}D_{yy} - (0.9D_{xy})^2$$



近似フィルタの構成

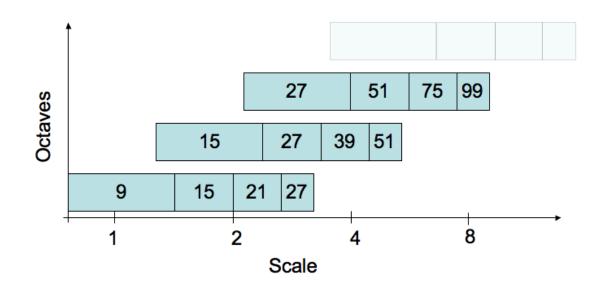




- ullet 最小単位は N=9,s=1.2
- 2 づつ大きくできる
- N=9 が $\sigma=1.2$ を近似している

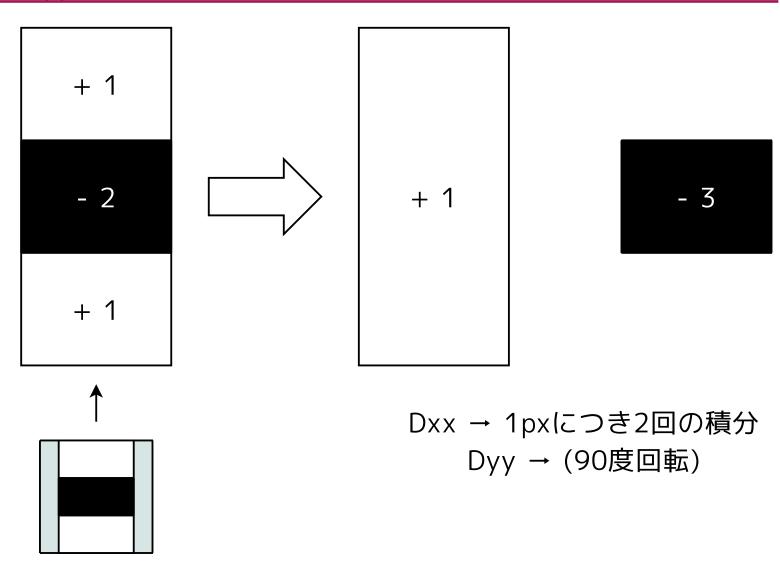
スケールスペースの構成

- SIFT では画像ピラミッド
 - フィルタサイズが大きくなるにつれて計算時間がかかる
- SURF のフィルタは大きさによらず定数時間で完了するため、 単にフィルタを大きくすれば良い



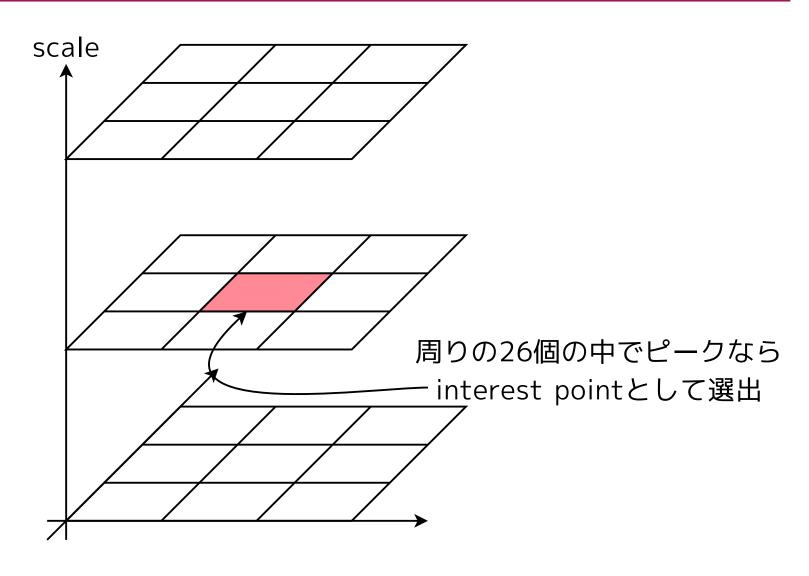
Fast-Hessian 応答の算出

D_{xx},D_{yy} の演算



Localisation

non-maximum suppression



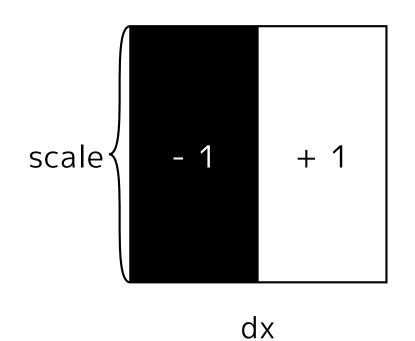
Haar wavelet 応答

一つの interest point(x, y, s) について、点のかたむき(dx, dy) を Haar wavelet フィルタの応答を用いて定義する。

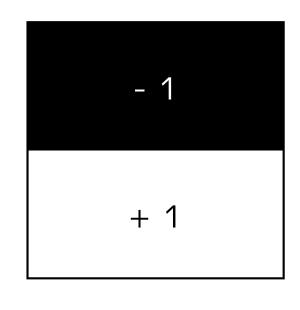
用途

- Dominant rotation の決定
- Feature の抽出

Haar wavelet 応答の算出

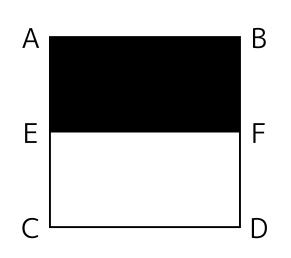


(横方向のかたむき)

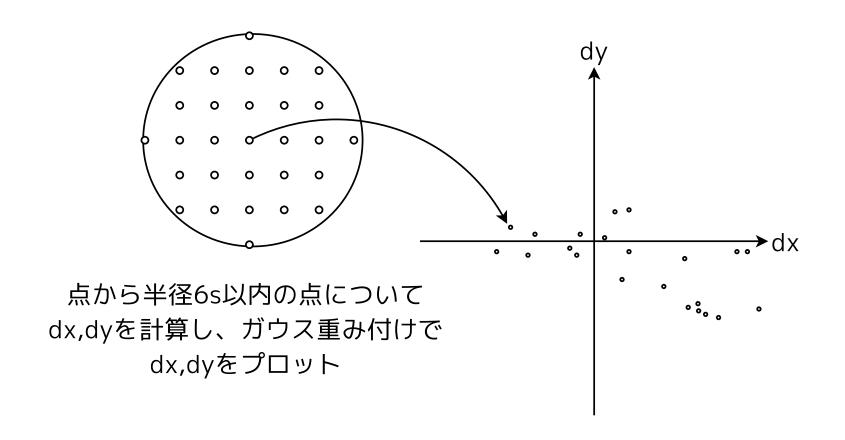


dy (縦方向のかたむき)

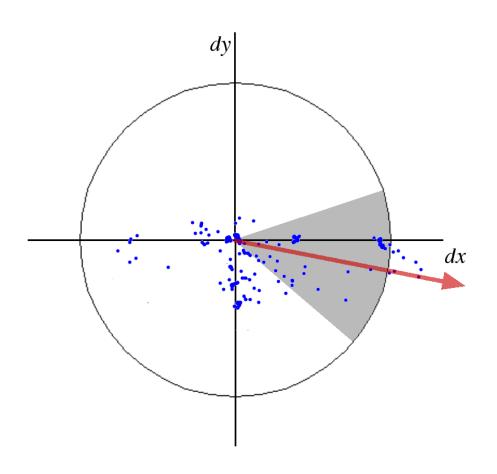
Haar wavelet 応答の算出



Dominant rotation の導出



Dominant rotation の導出



窓 (着色部分) から見えるベクトルを加算していき、最も長くなった時 のベクトルを Dominant rotation とする。

<u>Feature</u> の導出

